「彼(女)らは~です」の文

They are junior high school students. 「彼女たちは中学生だ」 彼女たちは十~である十中学生

主語+be 動詞+補語



拙者もこの図体で中学生でござるよ。どんどん罵ってくだされ。

■ 今回は主語が複数のケースを学んでいきます。形は、今回も〈主語(名詞)+be 動詞+~、〉を用います。



They are junior high school students. 「彼女たちは中学生だ」 \downarrow S \downarrow V **↓** C

They are \sim . 「彼(女)らは \sim です

■ 今回主語に用いる "thev" は、「彼(女)らは; それらは | を意味します。主語が 複数のとき、be 動詞にはつねに "are" を用います。

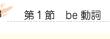


"a student"だと「(ひとりの) 生徒 | だけど、"students"だと「生 徒たち」の意味で複数になるのよ。複数形はふつう、名詞の語尾に "-s" をつけるのよ。

"they"は「彼らは;彼女らは」という意味で、「彼は」"he" や「彼女は」 "she" の複数を意味します。また、「私たちは| "we" / 「あなたたちは| "you" / 「これらは| these / 「あれらは」those を用いて、We are \sim . 「私たちは \sim です」や、Those are ~、「あれらは~です」と表現することもできます。主語が複数の場合、be 動詞には つねに "are" を用います。











例文 を出しておくから早くコンプリートしなさいよ。

These are her goods. SV

「これらは彼女のグッズだし

We are brother and sister. 「俺たちはきょうだいだ」 $S \rightarrow V \rightarrow C$

■ すべての文の be 動詞が are になっていることが確認できますね。「私たちは」「あ なたたちは」「彼(女)らは」「これらは」「あれらは」など、主語が複数の場合、be 動詞 には "are" を用います。短縮形も併せてまとめると、次のようになります。

◆「○○は××です」の表現

• I am ~.	= I'm \sim .	「私は~です」
• You are ~ .	= You're \sim .	「あなたは~です」
\bullet He[She] is \sim	$. = \text{He's}[\text{She's}] \sim .$	「彼(女)は~です」
• This is \sim .		「これは~です」
• That is \sim .	= That's \sim .	「あれは~です」
• We are \sim .	= We're \sim .	「私たちは~です」
• You are ~ .	= You're \sim .	「あなたたちは~です」
• They are \sim .	= They're \sim .	「彼(女)らは~です」
• These [Those]	$ $ are \sim .	「これ[あれ]らは~です」



"This is ~." と "These are ~." "Those are ~." は短縮しない ぜ。主語によって、後ろの be 動詞は変わるんだ。

) 内に適する語を入れましょう。 **解答⇒p.174**

●彼女たちは私のクラスメイトよ。

() my classmates.

テーマ3 「彼(女)らは~です」の文 49